

科目名	職業指導 Vocational Guidance						
科目担当者	若松 朋也 WAKAMATSU Tomoya						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	講義／演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 自由科目] 他学部他学科履修×				ディプロマポリシーとの関連	(5)(6)	
授業の概要	授業前半は、高等学校におけるキャリア教育について概観したうえで、職業指導の位置づけを理解し、キャリア教育の事例をもとに、キャリア形成を図るために必要な支援について具体的なプロセスを学び、ホームルーム活動を想定した模擬授業を行う。授業後半は、商業科を通じたキャリア教育実践についての基本的な考え方について学び、具体的な授業場面を想定した模擬授業を実施するとともに、これからのキャリア教育の在り方について学習する。						
授業の到達目標	① 学校教育における職業指導・進路指導・キャリア教育の基礎的な理論を理解する事ができ、職業指導の重要性について説明ができるようになる。 ② 進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方について理解できる。 ③ ホームルーム活動における進路指導計画を立案することができ、学習指導案をもとに、模擬授業を行うことができる。 ④ 職業指導における今日的課題について考察することができる。						
授業計画・内容	1	ガイダンス・キャリア教育とは何か	16	雇用をめぐる今日的課題			
	2	高校生期のキャリア発達課題	17	私のライフキャリア			
	3	職業の定義、職業分類、産業分類	18	教員としてのキャリアを考える			
	4	職業情報の内容と理解 職業情報調べ	19	商業科を通じたキャリア教育の在り方			
	5	職業情報の内容と理解 13歳のハローワーク	20	普通科における職業科目			
	6	特別活動・HR活動の指導計画	21	商業科の指導内容とキャリア教育・指導計画			
	7	模擬授業(特別活動・HR活動)の実施	22	模擬授業(ビジネス基礎)の実施			
	8	模擬授業の振り返り	23	模擬授業の振り返り			
	9	模擬授業(特別活動・HR活動)の実施	24	模擬授業(ビジネス実務)の実施			
	10	模擬授業の振り返り	25	模擬授業の振り返り			
	11	模擬授業(特別活動・HR活動)の実施	26	模擬授業(簿記)の実施			
	12	模擬授業の振り返り	27	模擬授業の振り返り			
	13	模擬授業(特別活動・HR活動)の実施	28	模擬授業(情報処理)の実施			
	14	模擬授業の振り返り	29	模擬授業の振り返り			
	15	キャリア・カウンセリング	30	まとめ、これからのキャリア教育の在り方			
授業外学修(事前学修)	次の講義内容について示された内容について事前に調べて確認するとともに、地域を理解するために新聞等で情報収集に努める。(毎週2時間程度)						
授業外学修(事後学修)	毎回学習内容を振り返るとともに職業体験等を積極的に行う。キャリアに関する授業について研究し学習指導案の作成に取り組む。(毎週3時間程度)						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	学習指導案・課題等のレポート				30%		①②③
	授業の参加・貢献度合い 模擬授業				30% 40%		①②③ ③④
成績評価基準	秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編』、文部科学省、実教出版						
参考文献	『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校特別活動』、国立教育政策研究所教育課程研究センター、教育出版						
その他	<注意事項> 出席時間数が授業時間数の5分の4以下の場合に、成績評価及び単位付与の判定を受ける資格を付与する。						